

ドローンの拡散は 国際政治を どう変えるか？

21世紀に入って安全保障問題は大きく変質しました。大規模テロ、内戦、シリアの混沌のような戦時、平時かわからない不透明な状況に、もう一つ不気味な要素が広がっています。ドローン(無人機)。米オバマ政権下で急速に使用が広がりました。ドローンは戦場をどう変えるでしょうか？戦略への影響は？戦争の法で取り締まれるでしょうか？国際関係研究所は、この問題を多角的に考えます。

日時

平成
28年
(2016年)**11月22日(火)**
18:30~20:00

会場

上智大学四谷キャンパス 中央図書館
9階921会議室

[対象] 本学学生、教職員、一般(※先着100名)

お申込

定員制のため事前にお申込みください。

<https://jp.surveymonkey.com/r/NLKRP9G>

右のQRコードからもアクセスいただけます



【講演者】

廣中 雅之氏(新アメリカ安全保障研究所(CNAS)上級研究員、
元航空自衛隊空将)

防大卒(1979年)、米ジョージタウン大学大学院修了、
元航空自衛隊空将、西部航空方面隊司令官、航空教育集
団司令官などを歴任。論文に“A World of Proliferation
Drones” CNAS, March 2016; “Roles, Missions, and
Capabilities of the Japan Self-Defense Force” CNAS, April
2016などがある。

【司会】

渡辺 紫乃准教授

(上智大学総合グローバル学部)

【コメント】

納家 政嗣教授

(上智大学総合グローバル学部／国際関係研究所)

主催

上智大学 国際関係研究所(SIIR)

